



発行所  
NTT労働組合  
九州総支部  
〒812-0013 福岡市  
博多区博多駅東3-2-28

TEL 092-714-8296  
FAX 092-461-2242

発行責任者  
田畑忠治  
編集責任者  
興梠友一

# さらなる労働条件の改善に！

## 「同一労働同一賃金」主体的に論議

NTT労組は、「同一労働同一賃金」について組織的論議の促進に向け、「NTT労組の考え方(案)」をまとめた。本号では、その考え方について解説する。

今年6月29日に可決  
・成立した「働き方改  
革関連法案」の1項目  
である「同一労働同一  
賃金」は、大企業では  
2020年4月から、  
中小企業では2021  
年4月から施行される。  
NTT労組は、第1  
96通常国会での「働  
き方改革関連法案」の  
動向などを見据えつつ、  
NTT労組におけるさ  
まざまな雇用形態の労  
働条件について、労働  
政策検討委員会で主体  
的に政策検討を行なっ  
てきた。

具体的検討にあつ  
ては、NTTグルー  
プにおける同一会社の雇  
用形態間の処遇につい  
て、同一・同額・同  
率とする項目、位置  
づけ・役割などに応じ  
た処遇とする項目――  
を峻別し、組織的論議  
の促進に向けた「NT  
T労組の考え方(案)」  
をまとめた。

「NTT労組の考え  
方(案)」では、政府  
の「同一労働同一賃金  
ガイドライン案」(以  
下、ガイドライン)や、  
連合がまとめた「同  
一労働同一賃金ガイド  
ライン案」の手引き」  
の内容と、NTTグル  
ープの賃金制度・服務  
制度・福利厚生制度な  
どの項目を照らし合わ  
せ、同一会社の雇用形  
態の処遇についての考  
え方を整理している。  
以下、賃金制度、  
服務制度、福利厚  
生制度についての政策  
検討など、  
その考え方  
を解説する。  
【賃金制度】  
基本給・  
一時金、職  
務関連手当  
については、  
雇用形態ご  
との役割や  
職務の違い  
に応じて支  
払われる項  
目を整理す  
るとともに、  
生活関連手  
当について  
は、生活を

サポート  
する必要  
性につい  
ては、雇  
用形態に  
より違い  
はあつて  
はならな  
いとの認識で交渉を行  
ない創設した。  
【服務制度】  
NTTグループには  
多様な休暇制度・休職  
制度が存在する一方で、  
政府のガイドラインの  
記載は、慶弔休暇・法  
定外年休・病気休職の  
例示にとどまっている  
ため、ガイドラインに  
基づき、

「サポート手当」は、  
仕事と生活を両面から  
補助する要素を持つ手  
当であり、それぞれの  
要件などを考慮し、政  
策検討を行なう。例え  
ば、昨年4月に導入し  
た「サポート手当」は、  
厚生に関する記載は、  
記事をのり項目につい  
ても個別に政策検討を  
行なうとしている。  
【福利厚生制度】  
NTTグループでは、  
労使間論議を積み上げ、  
多様な福利厚生制度も  
カフェテリアプランと  
して整備してきた。ガ  
イドライン上での福利  
厚生に関する記載は、  
記事をのり項目につい  
ても個別に政策検討を  
行なうとしている。

NTT労組の考え方(案)  
を基に、「同一労働同  
一賃金」に対する組織  
的論議および会社対応  
を行なっていく。  
具体的には、社会  
環境や判例など、労使  
が主体的に取り組む事  
項、法施行に向けて  
環境整備を図る事項  
――など、プライオリ  
ティを意識し検討を深  
めることとする。  
総支部は、上記検討  
・論議に積極的に参加  
・参画するとともに、  
組合員へのタイムリー  
な情報共有に努めるこ  
ととする。

## 旬感

### 私たち自身の たたかい



副委員長(長崎エリア)  
上田 洋一

8年連続で人口が減少する日本。今後30年間で2000万人減る。長崎県も、大村市と長与町以外はすべて2割以上減り、6割前後落ち込む市町村もあるという。

人口減少問題は、もはやバーチャルではない。

労働人口の減少は、税収の減や社会保障費の負担増をさらに加速させる。一度人口減少が始まれば、再び人口を増加させ現状回復するには、100年かかるそうだ。

自分たち世代が良ければそれでいいのか。格差と貧困を助長するいまの政治に

将来は託せない。  
地域社会で働く人・生活する人、そして何より次を生きる子どもたちに、平和で安心して暮らせる社会の仕組みを「創り」「つなく」ことこそ、いまを生きる者の使命だと私は思う。

「気難しくなってきたのを友人のせいにはするな、しなやかさを失ったのはどちらなのか。駄目なことの一切を時代のせいにはするな、わずかに光る尊厳の放棄」(茨木のり子詩より)

吉川さおり三選 = 私たち自身のたたかい。流れを変えよう!

## お知らせ

11月は労働時間適正強化月間です。組合員・社員のみなさんの心身の健康維持に影響する大切な取り組みです。今一度、自分の働き方を見つめ直してみたいかがですか？

# 交渉力を高めるために 第1回分会仲間づくり担当者会議

総支部は、11月9日、第1回分会仲間づくり担当者会議を開催した。はじめに、総支部・田畑委員長から「組織率が低いままでは、交渉は難しい。前進的な解決を図るためにも、多くの未組織の方が組合に加入することが必要である」などとあいさつがあった。引き続き、総支部仲間づくり担当者会議の報告を行ない、その後、今年度の九州総支部における仲間づくりの取り組みについて提起を行なった。具

体的には、「仲間づくり推進委員会」の設置および体制の強化、仲間づくり強化ゾーンの設定(第1期・12月～1月、第2期・4月～5月)、仲間の拡大に向けたアクションプランの策定、組合加入後のフォロー活動——などについて全体で認識を合わせた。とりわけ今年度は、「福利厚生の見直し」における適応範囲の拡大に向け、無期雇用者の100%加入をめざし取り組みを推進して

いくとともに、各分会で設定した目標の必達に向け、総支部・分会が連携した活動を展開していくことについて、意思統一を図った。その後のグループワークでは、職場の課題の抽出、課題解決に向けた取り組み、優良事例の水平展開——などについて、分会間で情報共有を図り、会議を終了した。総支部は引き続き、同じ職場で働く「すべての仲間の結集」が、活動のさらなる活性化につながるとの認識のもと、とりわけ「無期雇用者の役割・位置づけ」および「労働条件の見直し論議」なども見据えつつ、仲間の拡大に向け、積極的に取り組んでいく。

また、各分会において「仲間づくり強化ゾーン」を中心に、昼休みや業務終了後の時間を活用した加入説明会を計画している。組合員皆さんについては、「同じ職場で働く仲間」のさらなる拡大に向け、未加入者に対し、組合加入を誘う「一声勧奨」を要請する。



グループワークの様子

グループワークでは、職場の課題の抽出、課題解決に向けた取り組み、優良事例の水平展開——などについて、分会間で情報共有を図り、会議を終了した。総支部は引き続き、同じ職場で働く「すべての仲間の結集」が、活動のさらなる活性化につながるとの認識のもと、とりわけ「無期雇用者の役割・位置づけ」および「労働条件の見直し論議」なども見据えつつ、仲間の拡大に向け、積極的に取り組んでいく。

また、各分会において「仲間づくり強化ゾーン」を中心に、昼休みや業務終了後の時間を活用した加入説明会を計画している。組合員皆さんについては、「同じ職場で働く仲間」のさらなる拡大に向け、未加入者に対し、組合加入を誘う「一声勧奨」を要請する。

## 欠陥原子力船「むつ」佐世保入港から40年

日本最初で最後の原子力船「むつ」は、1974年、放射能漏れ事故で青森県下北半島から退去を迫られた。1975年、新母港に対馬美津島町三浦湾が予定されると、全島あげて阻止行動が展開され対馬については撤回。しかし、佐世保母港化で動きだしたことに、県労評(現・長崎県平和運動センター)を中心に「母港化阻止県共闘会議」が結成され、政府に抗議する集会やデモが全国からの支援者も含め続けられた。しかし、1977年、受入れは県議会の賛成多数で採択されてしまう。なお、県は受け入れ条件に「長崎新幹線早期着工」を政府に要請していたことを補足しておく。

1978年10月16日の入港時には、陸上・海上における実力阻止闘争が闘われ、陸上においては、1万人規模の抗議集会・デモ、街頭宣伝、戸別ビラ入れ、海上では、総数53隻の阻止船団などで徹底抗議したが、入港阻止には至らなかった。佐世保労働福祉センター前に再結集した行動隊は、海上部隊も含め最後の抗議デモを展開し、むつ廃船に向けてさらに闘いの強化を図ることを誓い合い、一切の行動を終了した。



被爆県長崎の県民意思を無視した一連の動き。権力の傲慢さは昔も今も変わらない。

被爆県長崎の県民意思を無視した一連の動き。権力の傲慢さは昔も今も変わらない。



現地は今!

2018年度第1回班長会議を9月27日(木)に開催した。分会大会後1ヵ月余りが経過する中、新班長も決まり、分会としての本格的な活動をスタートした。



## 「本格的な活動スタート」

前原分会長より「向こう1年間、組合員の『声』に耳を傾け、さらなる運動の発展・強化をめざし、『職場を原点』とした組織諸活動を実践するとともに全体で確認し合ったものは、みんなで行動することを基本に活動を展開していきたい」とあいさつがあった。

その後、電通共済生協九州ブロック松岡部長より「2018秋の加入促進の取り組み」について、商品概要などの説明を受け、加入時における記入方法、提出期日などについての確認を行なうとともに、分会執行部より「2018年度宮崎分会活動方針」および「情宣活動」について提起し、班長会議を終了した。



第二部の意見交換会では執行部と新班長との親睦を図った。

(宮崎分会 奥田 悟)

## はっちゃんねる

### 七五三の写真

今年は、次男が5歳になるため、写真館に七五三の写真を撮りに行こうと計画している。しかし、写真館で実家の分もあわせて写真を頼むとびっくりする値段になる。わが家では、安く写真を撮るために、「ヤフオク」か「メルカリ」で割引券を購入している。しかし、割引券は10～11月の繁忙期は使えないため、七五三は少し遅めの12月に、撮りに行くようにしている。さらに、撮影して気に入った写真は、キーホルダーや、卓上カレンダーなどの安価な商品を選び、選んだ商品の写真のデータを買えるサービスを使う。後日、自分でデータを写真館のプリント機で印刷することで、費用を抑えることができる。子供のイベントは、お金がかかるが、少し工夫して素晴らしい思い出を残していけたらと思う。

(興相 友一)